

言葉を変えれば行動も変わる

- ・無意識に使うマイナス言葉は、円滑なコミュニケーションを阻害する。
- ・常に”自分が源”。相手の立場に立った言葉遣いが良好な人間関係を築く。
- ・日々のひたむきな行動が「成果」につながる。

職場に限らず、私たちの人間関係は、日常のちょっとした一言で良くもなり、悪くもなります。自分の発する言葉には鈍感ですが、他人から言われた言葉には敏感です。例えば、「だから～」「つまり～」を繰り返したり、「外来語」を多様した会話であったりと普段なにげなく使っている言葉にも落とし穴はあります。

なにげない一言で人間関係が崩れることもあるのです。特に、職場で上司との関係が一度悪くなってしまうと職場全体の雰囲気壊してしまいがちです。

上司「こんな企画書じゃだめだ」

部下「ご指摘ありがとうございます。他にもよくない箇所がありましたら教えてください。」

上司「この間の計画はどこまで進んでいる」

部下「今、4分の3まで進んでいます。」

上司「〇〇をやってくれないか」

部下「今△△の資料を作っているのですが、どちらを優先すればよいでしょうか。」

正しい自己主張は相手からの共感と納得を得ることが出来るのです。